

概要版

令和4年度第2回野洲市都市計画審議会会議録

開催日時 令和4年 10月26日(水)
午後2時00分～2時40分
場 所 市役所本館2階 庁議室
出席者 委員10名中8名
傍聴者 なし

1. 開 会

事務局(都市計画課長)から審議会成立の報告

2. 挨 拶

会長挨拶
市長挨拶

3. 諮 問

(1) 大津湖南都市計画下水道の変更(野洲市決定)の計画書(案)について
資料2に基づき説明

審議結果 ・令和3年3月30日に市街化区域に編入された21.6ヘクタールのうち、都市計画決定がなされていない10.3ヘクタールを公共下水道の排水区域として追加することに伴う、公共下水道の計画決定の変更について、市長より諮問。慎重に議論いただいた結果、原案について承認する旨、答申いただいた。

主な意見

B委員 今回の変更決定は都市施設の整備のためかと思うが、付属書類の地図が拡大しても見づらく、書いてあることが分からない。縦覧などもこのサイズの図書でされていたのか。

事務局 同じサイズとなっていた。

B委員 分かっているものが見れば位置的なものは分かるが、書いてあることが全く読めない。市民を対象として添付する図書であるならもう少し見えるようにしてもらいたい。

会長 縦覧はこのA3判か。

事務局 そうである。

会長 必要な拡大図を添付するなど、そういったことは何かできるか。

事務局 それは可能であるが、今回はこちらを縦覧の資料として準備した。
今後、下水道の変更等を実施していく際には、ご意見を踏まえて見やすいものを準備させてもらう。

G委員 市街化区域に編入された部分を排水区域に入れていくということはよく分かるが、全体図を見ていると市街化調整区域でも排水区域に入っているところもあるが、入っていないところもある。
野洲市の下水道普及率は99パーセント程であり、色が塗られていないところも下水道の整備がされているかと思うが、市街化調整区域を排水区域に入れるかどうかの判断はどうなっているのか。

事務局 市街化調整区域に対する下水道の整備については、ご指摘のように市街化調整区域で色が塗られていない箇所も下水道が入っており、下水道の普及率99パーセント程度となっている。
そのような箇所については、特定環境保全公共下水道（処理人口が1万人以下の小規模な下水道で、自然公園区域内の水質保全・農山漁村の生活環境の改善を図ることを目的として整備しているもの）という制度があり、そちらで下水道を入れている。今回説明しているのは公共下水道としての整備区域であるため、それ以外の整備区域には色が塗られていない。

会長 市街化調整区域でも市街化区域であっても下水道のサービスに関しては、実質的な差はないという解釈でよいか。

事務局 はい。

会長 制度上の違いだけであって住民の皆様には市街化調整区域・市街化区域の差はなく、手続き的な話であるという認識でよいか。

事務局 はい。

会長 下水道の普及率が99パーセント程度ということは、数えるくらいの何軒かに下水道が繋がっていないということか。

事務局 下水道にまだ繋がれていない場所が残り 1 パーセント程ということである。

会長 一応、繋げる状態にはあるという認識でよいか。

事務局 浄化槽で一部整備されているところがあるが、大多数のところについては下水道が繋がっている状況である。

4. その他

主な意見

E 委員 小篠原台の住宅地や、高専の将来的な下水道の計画はどのような方向で進められるのか。

事務局 小篠原台については既に下水道が整備されており、公共下水道の中に加わっている。

高専については現段階では下水道は整備されていないが、今後、下水道法の中で事業区域を定める中で、高専の区域についても概ね全ての地域を下水が排出できるエリアに変更していく予定である。

A 委員 高専が市三宅地先に決定され、令和 9 年開校予定となっている。そうなるとその周辺設備がいかにか整っているかによって高専の競争率がおそらく変わってくるであろうと考えている。

皆様にはこれからもご協力よろしくお願い申し上げたい。

市長 具体的にはこれから国、県と協議していくが、高専はかなり広大な土地になるため、どのような配置にしていくのかという問題でその周辺の賑わいというものも考えていかなければならないと思っている。

また今後にご期待いただけたらありがたい。

会長 やはり教育施設は教育環境、アクセスの状況などが受験生の選択に大きく関わるので、是非、野洲市として全面的に協力して進めていただければと思う。

5. 閉 会

副市長挨拶

以上